

中国株ウィークリーレポート

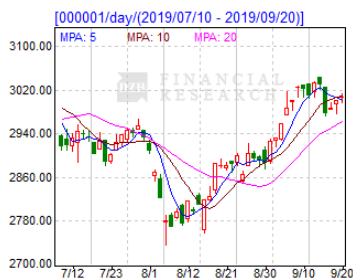
2019/9/24

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	26,935.07	-159.72	-0.59	-1.05	15.46	23,327.46
NASDAQ	8,117.67	-65.21	-0.80	-0.72	22.34	6,635.28
日経225	22,079.09	34.64	0.16	0.41	10.31	20,014.77
上海総合	3,006.45	7.17	0.24	-0.82	20.55	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,935.65	11.27	0.29	-0.92	30.72	3,010.65
ハンセン	26,435.67	-33.28	-0.13	-3.35	2.28	25,845.70
中国企業	10,375.65	-9.70	-0.09	-2.92	2.48	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 3.4%安と 3 週ぶりに反落、上海総合指数は 0.8%安

香港市場ではハンセン指数が週間で 3.4%安と 3 週ぶりに反落。週初から売りが続き週末まで 5 日続落となった。中東情勢の緊迫化で地政学リスクが意識されたほか、16 日に発表された中国の経済指標が軒並み市場予想を下回ったことで中国経済の減速懸念も高まり、相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が週間で 0.8%安と 3 週ぶりに反落。週前半は軟調に推移したが、週後半にかけては最優遇貸出金利の引き下げ期待を受けて徐々に持ち直す展開となった。

今週の展望: 香港市場は神経質な展開か、米中貿易問題を巡り再び不透明感

香港市場は神経質な展開か。ワシントンで開かれた米中の次官級通商協議を受けて市場では協議が予想以上に難航しているとの見方が広がっており、先行き不透明感が相場の重しとなりそうだ。中国との暫定合意を検討すると発言していたトランプ米大統領が一転して中国側に完全合意を求めるなど状況は二転三転しており、今週も関連報道に一喜一憂する展開が見込まれる。本土市場は建国 70 周年を前に景気支援策発表への期待が高まりやすいが、来週火曜日から 1 週間の連休に入るため手じまい売りも出やすくなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	45.80	11.84
2 CNOOC (00883)	12.58	5.71
3 舜宇光学科技 (02382)	119.70	0.25
4 中電控股 (00002)	81.90	0.18
5 華潤置地 (01109)	33.30	0.00
6 中国中信 (00267)	10.02	-0.79
7 電能実業 (00006)	52.95	-0.84
8 HSBC (00005)	60.00	-1.15
9 恒基兆業地産 (00012)	38.15	-1.17
10 長江インフラ (01038)	53.05	-1.21

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車 (00175)	13.02	-7.79
2 申洲国際集団 (02313)	104.00	-7.64
3 創科実業 (00669)	54.00	-7.22
4 AIAグループ (01299)	75.45	-6.51
5 中銀香港 (02388)	26.90	-6.43
6 銀河娛樂 (00027)	51.00	-5.56
7 太古A (00019)	74.15	-5.54
8 長江実業地産 (01113)	54.45	-5.30
9 恒安国際集団 (01044)	52.05	-5.28
10 中国旺旺 (00151)	6.12	-5.26

▼今週の主なイベント

- 9月26日(木)
- 【米国】GDP確定値(4-6月)
- 【香港】貿易統計(8月)
- 9月27日(金)
- 【中国】工業企業利益(8月)

▼今週の期待材料

- ◆10月1日の中国建国70周年近く、中国政府による景気支援策発表に期待が高まる公算
- ◆S&Pダウ・ジョーンズのA株組み入れとFTSEラッセルのA株組み入れ比率引き上げが23日に発効
- ◆中国政府が「交通強国建設綱要」を発表、交通強国の実現に向けインフラ投資が加速する公算

▼今週の懸念材料

- ◆20日発表の中国の最優遇貸出金利は引き下げ幅がわずか0.05%、過度の金融緩和期待が後退
- ◆香港の抗議デモ長期化で店舗賃料引き下げの動き、賃貸主力の不動産企業にとっては逆風に
- ◆トランプ米大統領が米中貿易問題で「暫定合意は考えていない」と発言、中国側に完全合意を要求

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国光大国際 (00257) : 江蘇省で生活ごみ焼却施設の整備事業を1.4億元で受注
- ☆ 中国再保険 (01508) : 損保子会社の1-8月の保険料収入が12%増加
- ☆ 中国交通建設 (01800) : 中国政府が交通強国建設の長期計画を発表、受注拡大に弾み
- ☆ 小米集団 (01810) : 23日まで5日連続で自社株買いを実施、発行済み株式の0.56%
- ☆ 平安健康医療科技 (01833) : 「平安好医生」の利用登録者が3億人を突破
- ☆ 中国太平洋保険 (02601) : GDR発行計画を発表、「滬倫通」第2号に
- ★ 新世界發展 (00017) : 25日に6月本決算を発表、市場予想は60%の大幅減益
- ★ 深セン控股 (00604) : 8月の不動産販売額が36%減少、1-8月は38%増
- ★ チャイナ・テレコム (00728) : 8月の4G加入純増数が前月比10%減少
- ★ 九龍倉置業地産 (01997) : デモ長期化で店舗賃料引き下げの動きが拡大

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平

14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。